

## 衛生管理（感染症）問題 2025通信

- 1 インフルエンザに関する次の記述のうち、正しいものはどれか。
- ① インフルエンザウイルスは、ヒト以外の動物にも感染する。
  - ② ワクチンは、接種後、直ちに効果が現れる。
  - ③ インフルエンザ(五類)は、診断した医師による全数届出対象の感染症である。
  - ④ インフルエンザは、1週間程度で回復し、これによって死亡することはない。
- 2 麻疹に関する次の記述のうち、誤っているものはどれか。
- ① 潜伏期は1～2日である
  - ② 病原体はウイルスである
  - ③ 別名を「はしか」という
  - ④ 定期の予防接種が行われている
- 3 結核に関する次の記述のうち、正しいものはどれか。
- ① 感染経路は、主に飛沫核感染である。
  - ② 肺以外の場所では病変を起こさない。
  - ③ 現在わが国の新たに登録された患者数は、約2,000人である。
  - ④ わが国の現在の死亡率のピークは、青年層である。
- 4 風しんに関する次の記述のうち、誤っているものはどれか。
- ① 妊娠初期の妊婦が罹患すると、先天性風しん症候群の子供が生まれる危険性が高い
  - ② 飛沫感染が主たる感染経路である。
  - ③ 潜伏期は、12日である。
  - ④ 定期の予防接種が行われている。
- 5 風しんに関する次の記述のうち、誤っているものはどれか。
- ① 三日はしかともいう。
  - ② 母子感染により先天性風しん症候群の子供が生まれることがある
  - ③ 症状としての発疹は顔に多く出る。
  - ④ 予防接種は毎年受けなければ効果がない。
- 6 結核に関する次の記述のうち、正しいものはどれか。
- ① 結核の新規登録患者は、年間約 1,000人である。
  - ② 定期の予防接種が実施されている。
  - ③ 菌は、肺以外の場所に定着しても病変を起こさない。
  - ④ 感染経路は、主として経口感染である。
- 7 麻疹に関する次の記述のうち、誤っているものはどれか。
- ① 別名、はしかともいう。
  - ② 感染力は非常に弱い。
  - ③ 全身に小さな発疹ができる。
  - ④ 定期予防接種が実施されている。
- 8 風しんに関する次の記述のうち、誤っているものはどれか。
- ① 潜伏期は、2～3か月である。
  - ② 妊婦が罹患すると、心臓病、白内障、聴力障害をもつ子どもが生まれる危険性がある。
  - ③ 病原体はウイルスで、患者の鼻や咽頭の分泌物により飛沫感染する。
  - ④ 予防には、予防接種を受けることが有効である。
- 9 結核に関する次の記述のうち、誤っているものはどれか。
- ① 学校、事業所などで集団発生する傾向がある。
  - ② 微熱、寝汗、長く続くせきや痰などが早期症状として現れる
  - ③ 近年のわが国における死亡率のピークは青年期にある。
  - ④ 予防接種はBCGワクチンによる。
- 10 O-157による腸管出血性大腸菌感染症に関する次の記述のうち、誤っているものはどれか。
- ① 感染経路は、飲食物等を介しての経口感染である。
  - ② 病原体は、熱に対して弱い。
  - ③ 潜伏期は、約30日である。
  - ④ 病原体は、ベロ毒素を出すのが特徴である。
- 11 後天性免疫不全症候群(エイズ)に関する次の記述のうち、誤っているものはどれか。
- ① 病原体は、ウイルスである。
  - ② 感染後、数日の潜伏期間を経て、ほぼ100%の人が発症する。
  - ③ 現在のところ、有効なワクチンはない。
  - ④ 病原体は、感染者の血液や精液などに含まれている。
- 12 後天性免疫不全症候群（エイズ）に関する次の記述のうち、正しいものはどれか。
- ① 一類感染症である。
  - ② 握手によって感染する。
  - ③ 病気が進行すると、通常は発病しないカビによる感染症を起こす。
  - ④ 感染後1週間経てば、感染の有無が抗体検査で判定可能になる。
- 13 B型肝炎に関する次の記述のうち、誤っているものはどれか。
- ① 病原体はウイルスである。
  - ② 感染者の血液や体液を介して感染する。
  - ③ 母子感染（垂直感染）がある。
  - ④ 潜伏期間は2日から4日である。
- 14 血液を介して感染する感染症に関する次の記述のうち、正しいものはどれか。

- ① B型肝炎では、このウイルスを保有している母親から子への垂直感染がある。
- ② ヒト免疫不全ウイルス（HIV）感染の判定は、感染後、数日たてば抗体検出で可能となる。
- ③ 後天性免疫不全症候群（エイズ）は、各種の治療薬が開発され、現在では完治する感染症となっている。
- ④ 梅毒の病原体は、梅毒ウイルスである。

**15 B型肝炎に関する次の記述のうち、誤っているものはどれか。**

- ① 症状としては、全身倦怠感、食欲不振、悪心、嘔吐がある。
- ② 肝硬変、肝がんへと進む場合がある。
- ③ 性的交渉では感染しない。
- ④ 血液を介して感染する場合がある。

**16 梅毒に関する次の記述のうち、誤っているものはどれか。**

- ① 適切な治療が行われないと、死に至ることがある。
- ② 妊婦が感染している場合、胎盤を介して胎児にうつることがある
- ③ 予防接種で、感染を防ぐことができる。
- ④ 接吻でも感染することがある。

**17 B型肝炎に関する次の記述のうち、誤っているものはどれか。**

- ① 潜伏期は、1～6か月である。
- ② 病原体は、B型肝炎ウイルスである。
- ③ 感染源は、ヒトの血液や体液である。
- ④ 予防のためのワクチンはない。

**18 B型肝炎に関する次の記述のうち、正しいものはどれか。**

- ① 約1週間の潜伏期を経て発病する。
- ② レザーやシザーズによる皮膚の傷からは感染しない。
- ③ 母子感染予防に新生児へのワクチン投与は有効である。
- ④ 持続性感染は起こらない。

**19 次の感染症のうち、蚊によって媒介されるものはどれか。**

- ① ペスト    ② インフルエンザ    ③ デング熱    ④ コレラ

**20 次の感染症とその潜伏期間に関する組合せのうち、正しいものはどれか。**

- ① B型肝炎・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・    ③ 風しん・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
- ② 後天性免疫不全症候群（エイズ）・・・・・・約7日から10日    ④ 腸管出血性大腸菌感染症・・・・・・・・・・・・・・約1か月から

| 解答 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 | 17 | 18 | 19 | 20 |
|----|---|---|---|---|---|---|---|---|---|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|
|    | ① | ① | ① | ③ | ④ | ② | ② | ① | ③ | ③  | ②  | ③  | ④  | ①  | ③  | ③  | ④  | ③  | ③  | ③  |